

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	薬価基準制度の透明化・効率化の検討のために必要な経費		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(事業終了)		担当課室	医療課		鈴木 康裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条		関係する計画、通知等	「薬価制度の基本方針」(平成11年12月17日中央社会保険医療協議会了解) 「保健医療材料制度改革の基本方針」(平成11年12月15日中央社会保険医療協議会了解)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新薬の薬価算定方式のうち、類似薬効比較方式に係る類似薬の選定は、効能・効果、薬理作用等に着眼して行われているが、「薬価制度改革の基本方針」(平成11年12月17日中央社会保険医療協議会了解)に基づき、その透明化を図るため、指標に着目した既存薬の分類作業を行う。 また、特定保険材料の実勢価格と保険償還価格の間に生じている価格差の解消については「保険医療材料制度改革の基本方針」(平成11年12月15日中央社会保険医療協議会了解)に基づき、算定ルールの明確化と保険適用決定過程の一層の透明化を図るため、機能区分の見直し作業を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既に薬価基準に記載されている医薬品について、専門家からなる委員会における検討を通して、主要な薬効、主要な薬理作用、化学構造を指標として分類し、更に臨床上的使用実態(効能・効果、用法・用量等)の差異に基づき分類する。 また、特定保険医療材料の価格を算定する際の償還価格の分類となっている機能区分について、使用目的や医療上の効果などによりグルーピングの見直しを行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	3	1	1			
		補正予算						
		繰越し等						
		計	3	1	1			
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	薬価基準収載医薬品の分類及び材料機能区分の見直しを実施し、もって償還価格の設定等診療報酬改定の議論に資する		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	薬剤分類委員会及び保険医療材料に関する検討会を解散し、既存の組織(薬価算定組織・材料専門組織)において分類の検討をすすめることとし、委員の委嘱を行うとともに、原案の作成をすすめた。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
						(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	薬剤分類委員会に係る経費	0	0					
	材料検討会に係る経費	0	0					
		0	0					
計	0	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度に省内行政レビュー(非公開)により、事業未実施であることについて指摘を受け、平成23年度概算要求から、要求を行わないこととした。		
予算監視・効率化チームの所見			
	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	平成22年度に省内行政レビュー(非公開)により、事業未実施であることについて指摘を受け、平成23年度概算要求から、要求を行わないこととした。		

※平成22年度実績を記入

平成22年度実績なし

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
平成22年度実績なし					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0